

普及啓発・人材育成推進方策検討ワーキンググループ
第10回会合 議事要旨(案)

1 日時

平成25年3月25日(月) 16:00 ~ 17:00

2 場所

内閣府別館9階会議室

3 出席者(敬称略)

(主査)	小泉 力一	尚美学園大学大学院教授
(委員)	青田 哲	日本電信電話株式会社
	荒木 浩一	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
	石井 茂	独立行政法人情報処理推進機構
	伊藤 求	ニフティ株式会社
	井上 健一	日本放送協会
	尾花 紀子	ネット教育アナリスト
	勝村 幸博	株式会社日経BP社
	川上 隆	学校法人岩崎学園
	小屋 晋吾	トレンドマイクロ株式会社
	近藤 則子	老テク研究会
	佐竹 正範	ヤフー株式会社
	清水 啓一郎	ソフトバンクモバイル株式会社
	下村 正洋	株式会社ディアイティ
	杉浦 昌	日本電気株式会社
	高橋 正和	日本マイクロソフト株式会社
	千原 啓	グリー株式会社
	西本 逸郎	株式会社ラック
	藤本 浩司	株式会社電通
	前田 典彦	株式会社カスペルスキー
	村上 智	株式会社シマンテック
	吉田 正彦	一般財団法人マルチメディア振興センター
(事務局)	占部 浩一郎	内閣審議官
	泉 宏哉	内閣参事官
	木原 栄治	参事官補佐
	田平 有紀子	参事官補佐

4 資料

資料1 普及啓発・人材育成推進方策検討ワーキンググループ第9回会合
議事要旨(案)

資料2 平成24年度「情報セキュリティ月間」の取組結果

資料3 今後のスケジュール

参考資料 普及啓発・人材育成推進方策検討ワーキンググループ委員名簿

5 議事概要

(1) 平成24年度「情報セキュリティ月間」の取組結果の報告と意見交換

事務局より資料2に沿って説明し、委員による意見交換が行われた。委員等からは以下のような意見が述べられた。

【月間の取組に関して気付きの点等】

今後、社内にデジタルサイネージを導入する会社も増えてくると思う。物理的なポスターだけでなく、デジタルサイネージ用の横長のコンテンツをご提供いただければと思う。

「ケータイモラルキャラバン隊」で、米国で紹介された「スマートフォン18の約束」を日本の環境に適合するように変えて、それを基軸に講演したところ、教育委員会、教員、保護者等から資料がほしいという要望がたくさんあった。講演は何度も行っているものの、今回初めてこうした要望があったところである。難しいことは伝わらないので、最低限のことで十分であるという証左である。ただ、携帯電話会社において、スマホのフィルタリングの必要性のみならず、ウィルス対策の徹底についても、全社的に上から落としてもらえるといいのではないかと。

【今後の課題等】

セキュリティソフトの言葉が分かりにくい。学校や組織に所属している人たちはいいが、そうではないパソコンを使う高齢者は、身近に聞ける人がいない場合もあるので、窓口やそういったことを聞くことができる仕組みがあるといい。何かアドバイスがほしい。平成25年度も国際キャンペーンを行うということだが、企業等がセキュリティソフトを正しく入れてというキャンペーンを行っているが、利用者のトラブルを発信するところがないので、そういうことを問題にして取組みたい。

今年度のイベント開催数は、平成23年度と比べて300件増えたということだが、どういったイベントが増えたのか。

主に小中高生を対象とした情報セキュリティに関する講習や、インターネット安全教室等のイベントが増えた。

地方自治体の方々をこの活動に巻き込むのは難しいか。どうすればいいか聞ける人が周りにいないという方々にとって近いのは、市町村の窓口や、市町村の中で活動されているいろんな団体である。そういう方々のところに窓口を作るのがいいと思う。

関連行事等を開催しているところもあり、全く自治体が動いていないということはないが、今後もっと検討させていただきたい。

結果を見て、位置づけが難しいところがあると感じた。企業向けのキックオフイベントが好評だった一方で、一般向けを狙ったポスターがあり、サイトのアクセス元は企業が多かったということで、幅広く上から下まである。内閣官房ということで全体を眺めるとこうなるのだと思うが、各官公庁やいろいろな活動がどう結びついているのか、日本全体でどう動いているのかというマップをまとめていただけると、もう少しわかり易くなり、テーマが明確になるのではないかと思う。

ご指摘はごもっともである。各省それぞれの所掌に応じてセキュリティ対策をやっているが、政府の一体感を醸成していく形でやっていければいいと思う。関係省庁の会議を事前にやって各省それぞれどんなことをやるかを調査し、うまく各省の所掌に合った形で月間ができればいいと考えている。

地方自治体の広報誌に月間のメッセージを掲載してはどうか。シニア層にはご覧になる方も多いため、目立つところで「今月は情報セキュリティ月間です」と言って、今回の川柳のようなものがあれば、面白がってアクセスしてくれるかもしれない。フィーチャーフォンをお持ちの方向けにQRコードを載せれば、面白いことが載っているなと思われ、アクセスし、気を付けなければと改めて思っただけかもしれない。紙媒体で月間をインフォメーションする手段を考えてはどうか。

今回、当社のサイトはスマートフォンからのアクセス数が伸びていた。NISCホームページはスマホの最適化がされていない状況なので、今後は、情報セキュリティの普及をするために、スマホの最適化が必要であると思う。

今回の川柳について、早めに提出していただき、名刺等に貼るシールを作成するのも良かったのではないかと。インターネット等のデジタルではなく、別の目立つ方法を実施するのもよかったかもしれない。しかし、お金のかかる話であるので、来年度可能か検討するのも良いと思う。

月間の取組みに関し、真新しさがだんだん薄れていると感じる。今回は、共通のテーマを付けたが、時代に応じた形で何かピックアップしていかないと、世の中で取り上げてもらえないと思う。

来年度の月間について、早めに検討して実行に移すことが必要ではないか。2月1日のイベントは事務局でアレンジするが、委員の方にもアイデアを出していただき、さらにグレードアップして来年度の2月1日を迎え、目新しさを追加したい。

今後の川柳の活用についてであるが、川柳にイラストをつけたらいいと思う。海外でも、川柳は分からなくても、イラストは分かりやすいとの評判であった。

- 以上 -